

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
チーム医療論	1年次	必修	講義	2単位（30時間）	小杉日登美
授 業 概 要					
<p>【教育目標】</p> <p>近年の生命科学、医学の進展に伴って医療は急速に高度化・細分化している。また、疾病構造や人口構造も大きく変わってきており、医療は複数の医療専門職の知を結集して行わなければその実施は困難である。さらに、医療に対する社会のニーズも大きく変化してきており、単に病気を治すばかりでなく、どのように診断・治療が行われるかというプロセス、倫理的、心理的、社会的な側面も含めた対応が必要になる等、医療の質が大きく問われている。このように、患者を中心にした最適な医療を実践するためには、多種類の医療専門職の協働（チーム医療）が不可欠であり、そのための優れた人材の育成が急務である。北里大学では、医療系の4学部と2専門学校を擁し、15に及ぶ医療専門職を育成する教育を展開している。また、大学附属の3つの病院と連携した臨床教育も大きな特徴となっている。このような環境のもとに、本講義では、チーム医療の構成員として自身の専門性を活かし積極的に医療に参画し、より安全で質の高い医療を実践できるように、医療の流れ、医療チーム構成員とその職能・役割、医療倫理をはじめとしてチーム医療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【教育内容】</p> <p>日本の医療システム概要（保健福祉システムとの関連）、専門職種を理解（医療関連職種の職能、役割等）、疾患と医療チーム（医療現場で形成される医療チームとその構成員の連携プレーの具体例）、クリティカルパス、医療倫理、コミュニケーション論、先進医療におけるチーム医療の例等、チーム医療に関する共通認識を深めるための内容を講義する。</p>					
到 達 目 標					
<p>患者を指向した質の高い医療の提供を目標に、チーム医療の構成員として自身の専門性を活かし積極的に医療に参画する事ができるようになるために、医療の流れ、各医療職の職能、医療倫理、コミュニケーションなどのチーム医療に関する基礎知識を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生がチーム医療の構成員として自身の専門職の専門性を説明することができる。</li> <li>・ 学生がチーム医療の構成員として自身の専門職の専門性を意識した論点を述べるができる。</li> <li>・ 学生がチーム医療の構成員としてリーダーシップ、メンバーシップを意識してディスカッションに参画することができる。</li> <li>・ 学生が他の学生の意見を真摯に聞くことができる。</li> <li>・ 学生が自身の意見と異なる意見を尊重した態度で聞くことができる。</li> </ul>					
実務経験のある教員					
学 習 内 容					
回	学 習 内 容				担当教員
1	イントロダクション				島袋 香子
2	専門職種の理解-1				松永 篤彦
3	専門職種の理解-2				別府 千恵
4	保健・医療・福祉システム概要				田ヶ谷浩邦
5	専門職種の理解-3				五味 勉
6	疾患と医療チーム-1				渡邊 昌彦
7	疾患と医療チーム-2				佐藤 之俊
8	疾患と医療チーム-3				高相 晶士
9	組織移植医療におけるチーム医療				内山 勝文
10	医療倫理				齋藤有紀子・渡邊 達也
11	専門職種の理解-4				伊勢田 明子
12	専門職種の理解-5				尾鳥 勝也
13	医療安全				渋谷 明隆
14	チーム医療におけるコミュニケーション				有田 悦子
15	チーム医療の科学的・客観的検証				守屋 達美
学 習 方 法					
・ サテライト授業で行う。					
評 価 方 法					
・ 学習意欲・態度、毎回のレポートにより評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>〔参考書〕</p> <p>『実践 チーム医療論』 インター・プロフェッショナル・ヘルスケア―実際と教育プログラム 水本清久、他 編著 医歯薬出版 I PWを学ぶ 埼玉県立大学 編 中央法規</p>					